

ご関係の皆様には大変お世話になっております。
 工事の現況などについてお知らせいたします。
 今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
 気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
 TEL:0226-25-5661 FAX:0226-24-3341

※現場見学をご希望の方は上記連絡先までご連絡下さい(担当:小室)
 ※当工事事務所は4月28日(土)～5月6日(日)まで休業致します。

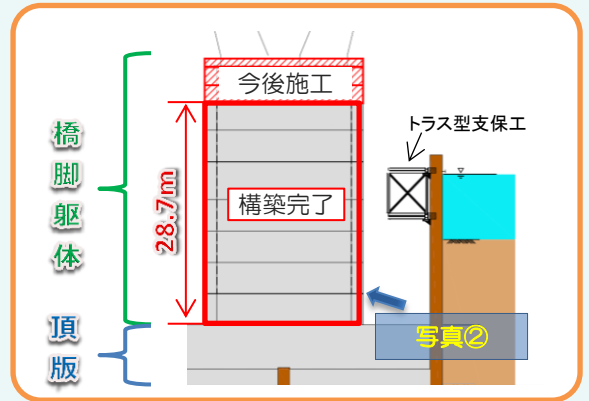


工事現況

橋脚コンクリート（7リフト）を打設しました（全9リフト）

2018年4月5日に『橋脚』7リフトのコンクリートを打設しました（全9リフト）。橋脚は頂版から28.7mの高さまで構築を完了しており、右断面図のように、海面より上にその姿を現しました。足場に囲われているので、皆さんにはわかりづらいと思いますが、足場の内部では巨大なコンクリートの橋脚が立ち上がっています。今後も引き続き、橋脚の構築作業を進めていき、橋脚は更に上へと伸びていきます。また、A2橋台では掘削を進めており、ゴールデンウィークが明けてから橋台を支える杭工事を開始します。

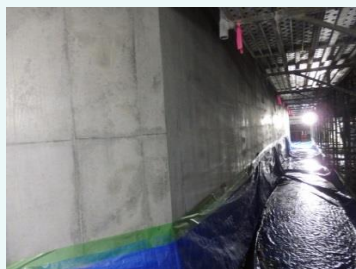
世界最高品質の橋脚・橋台を目指して今後も安全に施工を進めて参ります。引き続き、航行船舶の安全確保と海の環境保全を最優先に作業して参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



断面図



①コンクリート打設状況（夜間）



②橋脚躯体（仮締切内部より）



③A2橋台掘削状況

今月の一品

『EPS』～発砲スチロールが大活躍！？～

橋脚の内部はコンクリートがびっちり詰まっているわけではなく、軽量化のために、右断面図のように、空洞になっている箇所があります（＝中空部）。本来であれば橋脚の内側に型枠を組立てて、コンクリートを打設して空洞部分を構築するのですが、当工事では、橋脚内部の空洞部分（中空部）にEPSブロックという材料を埋め込んでいます。EPSブロックとは『Expanded Poly Styrol』の略称であり、右写真のような大きな発砲スチロールのことです。

EPSブロックはその軽さと自立性が特徴であり、空洞部分に埋め込んでそのままコンクリートを打設すれば、型枠によって空洞部分をつくることなく、橋脚を軽量化することが可能となります。また、陸上で組み立てればそのまま設置することができ、施工スピードが速くなるというメリットがあります。

橋脚の中に隠れているため、皆さんの目に触れることはありませんが、高品質な橋脚を安全に、早くつくるため、発砲スチロールが大活躍しています！



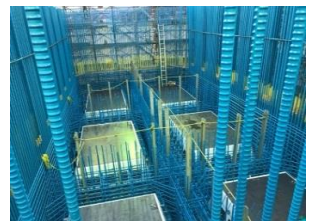
橋脚断面図



発砲スチロール組立状況（陸上）



設置状況



設置完了状況

工事予定

年月	平成30年											
	4月				5月				6月			
作業内容												
RC橋脚工												
橋脚構築工												
足場・鉄筋工												
型枠工、コンクリート打設												
支保工撤去												
備考												

現場HP更新!



クールでおもしろい仕事
 おもしろ物語 @ 工事現場